

### 合原 一幸 (AIHARA Kazuyuki)



東京大学生産技術研究所 教授  
同最先端数理モデル連携研究センター センター長 (兼任)  
同大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻 教授 (兼任)  
同大学院工学系研究科電気系工学専攻 教授 (兼任)  
理化学研究所 特任顧問 (兼任)  
科学技術振興機構 研究開発戦略センター 特任フェロー (兼任)

東京大学工学部卒業、  
同大学院工学系研究科博士課程修了。  
工学博士。

---

日本学術振興会奨励研究員、東京電機大学工学部助手、専任講師、助教授、東京大学工学部助教授、同大学院工学系研究科教授、新領域創成科学研究科教授、情報理工学系研究科教授などを経て、2003 年から現職。2010 年より東京大学生産技術研究所最先端数理モデル連携研究センター長兼任。

主に、脳の数理や、カオス工学、複雑数理モデルに関して研究しており、具体的研究テーマとして、(1) 複雑現象の数理解析、(2) 脳情報システム理論・人工知能、(3) 疾病の数理モデルと治療への応用、(4) 複雑ネットワークの工学・産業応用などがある。

主な編著書に『脳はここまで解明された』(ウェッジ)、『カオス学入門』(放送大学教育振興会)『複雑系がひらく世界-科学・技術・社会へのインパクト』(日経サイエンス社)、『社会を変える驚きの数学』(ウェッジ)、『爆笑問題のニッポンの教養 脳を創る男 カオス工学』(講談社) など多数。その他共著、研究論文多数。

計測自動制御学会・2015 年度 計測自動制御学会論文賞受賞(2015)、システム制御情報学会・2014 年度システム制御情報学会論文賞受賞(2014)、Daiwa Adrian Prize 2010 受賞(2011)、AROB (Artificial Life and Robotics) Academic Achievement Award 受賞 (2003)、東京テクノフォーラム 21・ゴールドメダル賞受賞 (2000)、日本神経回路学会平成 9 年度論文賞受賞(1997)、(財)国際 AI 財団・AI 学術研究賞受賞 (1992)、日刊工業新聞技術・科学図書優秀賞受賞 (1991) など。